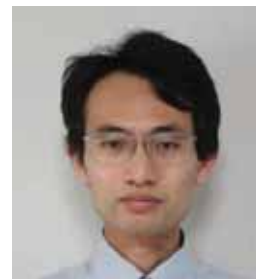


リレー巻頭言 「関山街道沿線の鉱山跡の活用と宮城県鉱山誌の発刊」

日本鉱山遺跡研究所 代表 五十公野 裕也

宮城県には金、銀、銅、鉛、亜鉛など様々な地下資源が埋蔵しており、細倉鉱山をはじめ古くから鉱山業が栄えておりました。鉱山数は200か所を超えるなど、県内各地に様々な鉱山がありました。関山街道沿線付近にも秋保鉱山や面白鉱山などの鉱山があり、江戸時代から昭和30年代にかけて断続的に採掘が行われました。人里離れた山中に鉱山町ができるなど、一時期大いに繁栄しておりました。しかし今では関山地域の鉱山を含め、県内のほぼ全ての鉱山が閉山してしまいました。さらに閉山からかなりの年数が経過してしまい、その存在が忘れ去られようとしております。



近年、鉱山跡が地質学的または文化・産業の遺産として注目され始め、国内においても世界文化遺産、日本遺産、ジオパークなどに認定されました。2010年代以降、本県では鹿折鉱山跡が三陸ジオパーク、細倉鉱山跡が栗駒山麓ジオパーク、さらに黄金山産金遺跡や大谷鉱山跡などが日本遺産「みちのくGOLD浪漫」に認定されました。鉱山跡が産業（文化）遺産またはジオパークとして観光や地域おこし等に活用される時代へと変化しました。この様な経緯から、鉱山の歴史を後世に伝えるための良い機会と捉え、県内の151か所の金属・非金属鉱山を集録した「宮城県鉱山誌」を執筆しました。9月5日頃に金港堂出版部からの発売予定になります。関山街道地域では、北沢鉱山、面白鉱山、作並鉱山、大丸沢鉱山、秋保鉱山、荒沢鉱山の6鉱山の位置、鉱床概要、沿革などが掲載されます。

関山街道付近では関山隧道が近代化産業遺産、仙山線鉄道施設群が土木学会の選奨土木遺産に認定されております。関山街道フォーラム協議会を中心にこれらの遺産を観光資源として活かすための活動が続いております。また、私の高祖母は旧秋保村新川地区の出身であり、関山峠を越えて天童市へ嫁いで来ました。関山街道とは大いにご縁を感じております。「宮城県鉱山誌」の発刊を契機として、関山街道沿線の鉱山跡を地域の貴重な産業遺産として先述した土木遺産と共に観光等に活用し、より一層地域の活性化を目指していききたいと思います。

■11/27（日）関山街道フォーラム10周年記念講演会

『関山街道の歴史と将来の可能性』を開催しました

東日本大震災後の2012年に協議会を設立してから10年が経過しました。この度、設立10周年の記念講演会を開催しました。

○来賓あいさつ

田中誠柳 氏（東北地方整備局仙台河川国道事務所長）

○第一部基調講演「関山街道を通じた地域交流とその可能性」

宮原育子 氏（宮城学院女子大学現代ビジネス学部名誉教授）

○第二部記念講演「古文書と史跡からよみがえる関山街道の400年」

平川新 氏（東北大学名誉教授、サン・ファン館館長）



田中氏



宮原氏



平川氏

第一部基調講演では、宮原先生から協議会活動や日本風景街道の紹介や今後のルート登録に向けた展開への示唆、可能性をお話いただき、第二部記念講演では、平川先生から関山街道400年の歴史を古文書や古地図等で分かりやすく興味深いお話をいただきました。また、「天童・織田の里歴史館」や「仙台市博物館」にもご協力をいただき、会場後方で協議会活動の紹介や関山街道に関連するパネル、地図等の展示をさせていただきました。

構成団体、オブザーバーや、会員等多くのみなさま方のご支援、ご協力で10年継続してこられ、記念のフォーラム講演会が開催できましたこと、本当に感謝申し上げます。会場には定員60名を大きく超える約100名の方にご来場をいただきました。受付もてんてこまいで、資料も足りなかったり、ご迷惑やいたらないところも多々あったかと思います。

これからも、地域のプラットフォーム的な活動を継続していければと思います。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。皆様、ありがとうございました。

■ 関山街道マップ（嶺渡りと小山田新道）がスマホで見られます

講演会の会場でも展示していた関山街道マップ（嶺渡りと小山田新道）。uMap（ユーマップ）での作成を試行的に実施しました。スマホにて地図を見ることができますので、よろしければ、下記の二次元コード（QRコード）を読み取り、ご覧ください。



関山街道・桜プロジェクト

関山街道沿線の愛子には、全国に数本しかないと言われる「かんざし桜」や地元の人から親しまれてきた「作並菊桜」もあります。R元年から実行委員会を組織し、フォトコンテストや探訪会、桜の講座等を実施してきました。

12/5(月) (公財) 日本花の会 結城農場 田崎農場長による「作並菊桜」の診断を実施

みやぎ仙台商工会前の作並菊桜は枝が枯損してきているため、田崎農場長に現地診断及び今後の対応のアドバイスをいただきました。

診断の結果、上部の作並菊桜は枯損しているため新たな芽吹きは難しく、栄養が台木のオオシマザクラに取られており、作並菊桜の存命は難しい状況でした。

対策として、土壌改良とともにヒコバエの作並菊桜の枝を活かすため、台木のオオシマザクラを根元から伐採し、ヒコバエも剪定するアドバイスをいただきました。農場では作並菊桜の増殖もされており、今後、サイカチ川沿いや定義記念樹の森等への植樹が検討できればと思います。



3/5(日) さくらシリーズ講座～「風景写真の価値ある1枚を撮る」集い～

写真家の大沼英樹氏による「幸福の種蒔桜～桜に魅せられて～」と題して、錦ヶ丘コミュニティセンターにて30名限定（満席となりました）の講演会を開催しました。

当日は、大沼先生の写真家までの道のり（自己紹介）をお話し頂き、その後、如何にして桜に魅せられて撮影するようになったかなど興味の尽きないお話をお聞きしました。一つの事に精通する事はいかに大変か、目標が見つかるまでの葛藤や努力等の貴重なお話で、写真の技術論を述べるより、如何にして今も桜写真を続けるのか等学びの多い講座となりました。さらに、さくら（樹木）関連のお話は高階道子先生より30分ほど講話を頂き、船岡一目千本桜の寿命の事など貴重なお話を伺えたことがとても印象に残りました。またこのような講座を開催出来ればとスタッフ一同気持ちを新たにしました。



関山街道の四季フォトコンテスト2023を実施！

今年も関山街道の沿線の四季をテーマにした写真を令和5年3月1日から6月30日に募集し、昨年を上回る44名から149点の素敵な作品が集まりました。

7月9日(日)に穴戸清孝先生（伊奈信夫賞受賞写真家）、粒木友香里先生（写真家）、鈴木勝幸氏（天童市市長公室室長補佐広報係長）の3名による厳正な審査の結果、最優秀賞に坂上杏子氏（仙台市青葉区）の「守り」が選ばれました。



- 最優秀賞
坂上杏子様「守り」
- 優秀賞
内藤雅喜様「紅葉に粉砂糖」
庄子一夫様「紅く染まった豆畑に権現森を望む」
- 特別賞
藤島純七様「冬の山寺」
松本正紀様「立谷川堤防の芝桜」
- スマホ賞
新国杏子様「青空とぼく」

四季フォトコンテスト2023 巡回パネル展示を実施中！

入選作品は、すでに協議会HPへの掲載やメルマガでの情報提供のほか、8月上旬より約6ヶ月かけて下記の沿線8施設で、入選・入賞作品の巡回パネル展示を開催中です。お近くにお出かけの際に、是非お立ち寄りください。

会 場	展示期間（予定）
作並湯のまち観光交流館ラサント	7/28(金)～ 8/20(日)
定義交流センター	8/25(金)～ 9/19(火)
仙台銀行本店ロビー	9/25(月)～10/20(金)
ニッカウヰスキー仙台工場	10/21(土)～11/19(日)
仙台市広瀬市民センター	12月上旬
天童市山口公民館	12/18(月)～ 1/12(金)
山形県村山総合支庁ロビー	1/15(月)～ 2/ 9(金)
東根市役所ロビー	2/13(火)～ 3/ 8(金)

※展示期間等の詳細はHPをご確認ください。



4/9(日)【仙台ふららん】愛子宿さくらてくてくめぐりを開催しました

今年の桜は全国的に異例の早さでした！当初予定から1週間繰り上げたにも関わらず、残念ながら桜はかなり散っていました。といっても、それはソメイヨシノをはじめとする一重桜のお話で、八重桜はまだつぼみの状態で、桜めぐりツアーとしては大変苦しい状況でしたが、昨年に引き続き日本花の会・桜の名所づくりアドバイザーの高階道子先生にガイドをお願いしましたが、逆に興味深いツアーとなりました。昨年も思ったことですが、今年の逆境のおかげで「桜が咲いていようが咲いていまいが、高階先生がガイドしてくださる限りこのツアーは面白い」（笑）、改めてそんな確信を持ってしまったアシスタント吉川なのでした。



関山街道の宿場町として栄えた愛子には、非常に多種多様な桜があります。そのことに注目して、小冊子「関山街道さくらめぐり」（高階先生が監修）を発行されたのが関山街道フォーラム協議会さん。今年も事務局の横山さんがご同行してくださり、協議会活動などについてもご案内くださいました。

まずは愛子駅前のシダレサクラ、非常に貴重な品種のかんざし桜や作並菊桜、子愛観音堂の八重桜など、高階先生の柔らかく、わかりやすい解説は本当に素晴らしく、何を聞いても即答してくださるのが気持ちいい（笑）。そして先生はとっても可愛らしくてお茶目で、ユーモアあるトークも素敵で、和気あいあいと楽しいまちあるきでした。今回のお話で印象に残ったのは、「なぜ八重桜は咲くのが遅いか」ということ。「花を咲かせるためには非常にエネルギーが必要となるから花びらが5枚しかない一重の桜よりも、何十枚と花びらがある八重桜の方が（エネルギーがかかる分）必然的に開花時期が遅くなるのだ」と。「ただし、咲くのに時間がかかった分、花がもつ期間も長いので、パッと咲いてパッと散る一重の桜と違って、しばらく楽しめるのが八重咲きの良いところですね」、ともおっしゃっていました。



子安観音堂の桜



下愛子の「簪桜」



みやぎ仙台商工会宮城支所の「作並菊桜」

桜の開花前線が一重桜のソメイヨシノを基準にしていることもあり、どうしてもソメイヨシノに合わせて桜のツアーを企画しがちですが、ここで参加者の方から鶴の一声。「八重桜が満開の時にこのツアーをやってほしい！」うーむそうか、そう来たか。でもそれはなかなか面白いかもね、ということで、来年の愛子宿さくらてくてくめぐりは、八重桜が満開の頃を狙って企画します（笑）。高階先生、よろしくお願い致します！

ご参加くださった3名の皆さん、風の強い日でしたが、最後まで楽しんでくださりありがとうございました。そして、いつもながら素晴らしい解説の高階先生、下見も当日もお付き合いくださった関山街道フォーラム協議会事務局の横山さん、お忙しい中、本当にありがとうございました。高階先生が所属されている「日本花の会」さんでは、401種類もの桜の情報を網羅する「桜図鑑」という素晴らしいサイトを開設されています。こちら是非、ご覧ください。



津島祇園神社の「江戸彼岸桜」

「桜図鑑」（公益財団法人日本花の会）<https://www.hananokai.or.jp/sakura-zukan/>

そして、ふららんでは桜メインのツアーでしたが、愛子の宿場町としての歴史に着目するのも面白いです。こちら併せてどうぞ。「愛子宿めぐり」<https://ayasi.info/>

【<https://www.facebook.com/sendai.furaran/> より 記）アシスタント 吉川】



5/5(金)作並菊桜（ハツ森）の現地調査【報告】

作並温泉郷千年桜プロジェクト事務局の小野寺氏（作並一の坊）より、ハツ森スキー場跡地に一本だけ（？）咲く、「作並菊桜」の情報をいただき、5月5日（金）アドバイザーの高階道子氏、須藤氏、横山の3人で現地調査を実施いたしました。

見事な大木（樹木は推定、高さ約20m、幹回り100cm）でしたが、残念ながら、種類は「一葉」との診断でした。

現在、地域で確認されている作並菊桜は、みやぎ仙台商工会宮城支所前の1本と千年桜プロジェクトで50本増殖して育った2本を湯神神社に植えた3本の貴重な桜が残っており、大切に保存できればと思います。



鉄の道部会

関山街道に並行して走る仙山線に焦点をあて、仙山線を語る会の開催、仙山線鉄道施設群の日本土木学会の選奨土木遺産認定（H26年）や、作並温泉旅館組合主催の「作並駅感謝祭」への協力、「仙山線駅間ウォーキング」等に取り組んでいます。

■【会員向け】阿武隈急行・乗り合わせ乗車（飲み鉄）企画を開催

「みちのく鉄道応援団」ローカル線部会では、2022年7月に全線運行再開し震災から復興した阿武隈急行を応援するため、乗り合わせ乗車（飲み鉄）を企画しており、県境区間乗車の累計は6月から数えて延べ40人（往復乗車含む）となりました。

阿武隈急行は、県境区間の乗客が特に少なくなっています。最も利用者が少ないと思われる日曜夕方の下り仙台行き直通2935M列車を選び、各自飲み物とおつまみなどを持参して乗車。団体ツアー形式とはせずに、会員それぞれの行程の中で最後に決めた列車に乗り合わせて、会員同士でちびちびとやりながら鉄道談義などを楽しみました。

同社は、度重なる被災にコロナ禍も加わり、たいへん厳しい経営環境が続いており、特に宮城県側については廃線論議に発展する可能性も否定できません。「鉄道に乗る」ことが応援につながると思います。



■【会員向け】仙山線駅間ウォーキング開催中です

仙台と山形を結ぶJR仙山線は、全通して80年以上の歴史を持ち、今では都市間移動、通勤・通学の足としてすっかり定着しています。そんな仙山線ですが、実は奥羽山脈を貫く山岳路線で、太平洋側の平野部から山を越えて山形盆地へと抜けています。そのため延長60km強の路線でありながら風景や気候が大きく変わるなど多彩で、加えて、作並温泉や山寺などの観光地も点在するなど非日常を体験できる鉄道路線でもあります。

「みちのく鉄道応援団」と当協議会「鉄の道部会」、「MBT仙台」の3団体が主催で、仙山線の各駅間をまち歩きしながら、色々な魅力を再発見する企画が開催中です。何回かに区間を分けて、最終的には、仙台駅から山形駅まで（奥新川駅-面白山高原駅間は除く）を歩き通す予定です。

第1回の仙台駅から北仙台駅（4月23日）を皮切りに、第2回目として6月11日に北仙台駅から国見駅までの約6kmを踏破しました。

次回は、9月3日に＜その3＞として国見駅-葛岡駅-陸前落合駅（6km）を歩く予定です。



参加者には資料配布のほか認定証も発行

仙山線駅間ウォーキング

その1（仙台—東照宮—北仙台）

2023年4月23日に、仙台駅から仙山線を軸になるべくレールに沿いながら、時には脱線もしながら、東照宮駅を経て、北仙台駅まで約6kmを13人が参加して行われました。

当日は若干風が強かったものの天気には恵まれ、午前9時に仙台駅東口のB1V1前を出発、解説文や古地図などを見ながら、いろいろなものに面白がりながら、北仙台駅まで踏破しました。



その2（北仙台—北山—東北福祉大—国見）

2023年6月11日に、仙山線駅間ウォーキング＜その2＞として、仙山線を軸に、なるべくレールに沿いながら、時には脱線もしながら、北仙台駅から各駅を経由しながら国見駅までの約6kmを13人が歩き通しました。

当日は、出発時点では雨が降っていなかったものの、小雨の生憎の天気となってしまいましたが、みなさん元気にスタート。カトリック北仙台教会のミサの鐘が鳴る中、国見へと向かいました。今回は北山地区ということで、神社、仏閣、墓地が多くなっていましたが、途中、買い食いタイムがあったり、線香タイムあったりしながら、じりじりと勾配を登って行きました。前回に比べると坂が多くてハードな歩きになりましたが、無事に全員が国見駅に到着しました。

今回は、仙台にありながら、仙台っぽくないような雰囲気のところ、みなさんそれぞれに楽しんだようです。



■4/22(土)関山隧道&嶺渡り下見調査 (会員、関係者等限定での開催)

今年は、日本山岳会の120周年記念事業として「関山古道・嶺渡り」が全国山岳古道調査120ルートの一つに選定されたことから、関心を持っていただける方、歩いてみる方が増えるのではと期待しています。そのため、下見調査として、30日の本番に備えて刈り払い等の軽作業を、ある程度の熟達者や体力に自信のある方を募集して実施させていただきました。

山頂からのコースは、山形への古道調査組と奥羽山脈主稜線を北上し、寒風山ルートに出る二手に分かれました。また、関山愛林公益会では、4月16日に関山嶺渡古道の整備作業を会員5名で行ったほか、今年の冬は雪が少なかったので倒木もほとんどない状況であったため、会員の発案で山形側登り口の川に木橋を架けていただきました。

嶺渡りが中止となり今回は利用できませんでしたが、本当にありがとうございました。



木橋架設



表示板の補修



参加者で記念撮影

今年は雨のため、本番の4月30日は30名の参加予定でしたが、残念ながら中止となりました。

■7/30(日)「関山街道作並地区を巡る探訪会」

～「関山街道開鑿殉難之地」の碑での慰霊の集いと隠れ滝探訪～

令和5年7月30日(日)に関山街道の歴史を今に伝える「坂下境目御番所跡」の「関山街道開鑿殉難之地」の碑で慰霊の集いと作並温泉の隠れた名瀑布「熊沢大滝」「隠れ滝」、湯神神社から「ニツ岩」の探訪を行いました。

河北新聞のイベント情報に掲載をいただき、一般の方8名、協議会会員や関係者7名、総勢15名での開催となりました。構成団体でもある広瀬川市民会議の日下均氏(広瀬川の清流を守る会代表)には、急遽読経をお願いし、明治13年7月21日に隧道掘削のための火薬運搬中の爆破事故で亡くなられた23名の慰霊を行いました。

大変暑い中でしたが、木陰や広瀬川の源流端や支川の滝巡りと、少しだけ涼しげな山歩きとなり、皆さん心地よく感じていただきました。湯神神社で振り返りを行い、参加された方から好意的な感想やご意見をいただきました。

作並湯のまち観光交流館「ラサンタ」では、仙山交流市が開催されており、休憩も兼ねて立ち寄り、随時解散にて帰路に就きました。参加いただきました皆さん、本当にありがとうございました。また来年も実施予定です。涼風を求めてよろしければ参加ください。



坂下御番所跡にて慰霊の集い



熊沢大滝



隠れ滝

■7/23(日) ぷらっとカフェ「ゆかたで定義まいり」

7月23日(日)に「ゆかたで定義まいり」を久しぶりに開催しました。

6名の参加者に浴衣を着ていただき、五重塔前で参加者を撮影、さらには散策中の写真も撮影させていただきました、お顔アップは出来ませんが・・・。

その後ガイドとして早坂光子さんによる定義の観光を兼ねての散策、いろいろとガイドをして頂きました、ありがとうございました。一人二役、お疲れ様でした。



五重の塔前にて記念撮影(パシャリ)



参道にてお買い物したり名物三角あげを食べたりとゆったりと楽しみました

私は暑くて疲れたので近くのお店で甘いものを頂きました



今回は角田からも参加して頂いた男性もいて、浴衣(着物)の楽しみ方を教えて頂きました。日本人なら夏は浴衣、春・秋・冬は着物を楽しんでもらいたいですね。また、定義の参道は浴衣や着物での散策が似合います。ぜひ皆さんも浴衣で定義まいり楽しんで下さい、来年も開催予定です。参加してね!

記) 阿部

■11/27（日）日本風景街道ルート登録検討関連/ランチミーティング

東日本大震災後、地域を元気にしたいとの思いで立ち上げた関山街道フォーラム協議会（2012年設立）も10周年を迎えました。そのため、新たな展開として仙山交流の一環で、山形側の関係機関や企業、団体等にも連携、協力をいただき国土交通省の施策である『日本風景街道』のルート登録に向けた取り組みを検討しています。

そのキックオフとして、11月27日に錦ヶ丘コミュニティセンターにてパートナーシップ構成団体（候補）の顔合わせとしてのランチミーティングを開催し、今後ルート登録実現に向けた検討事項、進め方について、意見交換を行いました。



【主な意見等】

- 風景街道の条件として、街道の長さ規定や、後からの延長は可能か？・・・コアになる区間をまず登録し、その後延長していくことも可能。
- 仙台市、東根市、天童市という形で、重層的に自治体も関わっていて、それらが効果的に連携をしながら登録を目指して欲しい。
- 是非、今日集まりいただきました方々には、行政の方も含めて、いろんな形でご支援をお願いしたい。
- 広報活動によって、多くの方々に関山街道がどういうところなのか、沿線にどのような見どころ、温泉地、観光地等があるのかということ、同時に発信していくことによって認知度が高まっていく。
- 誰が動くんだとか、どんな活動をするんだっていうことは、常に問いかけながら、登録に向けた活動を進めていくことが重要。
- 関山街道フォーラム協議会が主体になって推進しているので、登録後も活動の中心は、協議会が担っていくことが望まれる。
- 協議会も10年経ち、高齢化が進んでる。どうやって若い年齢層の方々に入っていただけるか、色々工夫をしていきたい。
- 今後の活動課題は、山形県側の様々な歴史・文化団体、自然観察団体等々との連携や関係をどう作っていくかが、非常に大事になる。
- 目標とする登録年度は？・・・要件が整えば早ければ来年度だが、持続可能な組織作りなど見通しが立ってから登録したい。

■12/6（火）登録前のルート視察について

12月6日（火）に東北風景街道協議会委員の堀繁東名誉教授、整備局3名を迎え、協議会3名とルート視察を行いました。

視察後、以下のご意見をいただきました。

- 本日、案内やご紹介をいただいた関山街道沿線の景観、自然、歴史、文化などの地域資源や、協議会の様々な活動など、申し分なく、もっと早くルート登録されても良いくらい。
- 今後、具体的に何に取り組むか、継続できる仕組みや組織など、他のルートでも課題になっているので検討が大切。

【視察ルート】

愛子宿巡り（肝入・検断屋敷跡地/桜プロジェクト関連「かんざし桜」、「愛子駅前枝垂れ桜」等）⇒ トレスル橋（熊ヶ根橋）
⇒ 関所神社、昼食（アルペロ）⇒ 鳳鳴四十八滝
⇒ 交流電化発祥の地の碑（作並駅）⇒ 湯のまち作並 観光交流館ラサント
⇒ 坂下境目御番所跡⇒ ニッカウキスキー仙台工場



アルペロ



湯のまち作並観光交流館 ニッカウキスキー仙台工場ラサント



■2/5（日）地域のお宝発見～関山街道、J R仙山線・広瀬川の魅力を語ろう～ワークショップ開催

日本風景街道ルート登録に向けた取り組みの一環として、宮城学院女子大学宮原ゼミ生や山形側からなど40名にご参加をいただき、ワークショップを実施しました。

事例紹介では、のしろ白神の道ネットワーク事務局の渡辺千明准教授（WEB参加）から日本風景街道とは何か、どんな活動をしているかを話題提供いただき、観光資源調査では、まちあるきツアー等企画ガイドの吉川理香氏から「まちあるきツアー」～ふらんの『観光資源』の考え方～をお話いただきました。今後の活動の参考になる貴重な情報で大変勉強になりました。

第2部のワークショップでは、関山街道沿線の観光資源の拾い出しから、簡単なモデルルート検討など、4班に分かれて熱の入った話し合い、最後に討議内容の発表を行いました。アドバイザーとして参加いただいた宮原育子名誉教授（宮城学院女子大学）、江成敬次郎名誉教授（東北工業大学）からコメントと、協議会会長の平川新名誉教授（東北大学）より総評をいただきました。

ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。

【場 所】 錦ヶ丘コミュニティセンター

【テーマ】 「地域のお宝発見～関山街道、J R仙山線・広瀬川の魅力を語ろう～」ワークショップ

【次 第】

第1部の話題提供

- (1) 日本風景街道について
- (2) 活動事例紹介
- (3) 関山街道・観光資源調査について

第2部のワークショップ



白沢カルデラプロジェクト

「歩こう会」は盛況で、皆さん大変楽しみにしています。定員がすぐに埋まることが多くなっています。3年目のプロジェクトでは、パンフレット作成に取り組んでいます。

■「白沢カルデラ」歩こう会

●4月20日(木) 第1回「古仙台海」白沢コース

第1回は愛子上町3町内会の愛寿会(老人会)からの声かけで、熊ヶ根陸橋下の「古仙台海」堆積層見学会を実施、帰り道にて新緑に輝く白沢五山を見るコース設定(約2時間)で取り組みました。

●5月17日(水) 第2回「愛子断層」副断層コース

芋沢川支流の蒲沢川「愛子断層」の地層検分会を実施しました。



●6月5日(月) 第3回「白沢五山」ゴロ山コース

箱倉山の登山口にて高嶋教授から白沢五山近辺の地層がよくわかる地図資料をいただき、足元の大地の成り立ちから年代を理解することができました。ゴロ山頂上入口の火山岩が「流紋岩」である理由が「穴」にあるのはガスの抜けた跡であるとの事。また、白沢カルデラの火山岩として蕃山、権現森の岩体は玄武岩、戸神山は安山岩の山、白沢五山のゴロ山は流紋岩の岩体であることを学びました。



ゴロ山「流紋岩」



箱倉山頂上 記念写真

次回は、第4回「豆沢川」沢歩きコースを9月2日(木)に予定しています。

■「白沢カルデラ」パネル・写真展

地域の市民センター等での活動紹介のパネル展示を実施しました。



ニッカウモスキー仙台工場

会 場	展示期間
作並湯のまち観光交流館ラサント	2022年 4/ 4(月)～ 4/16(土)
ニッカウモスキー仙台工場	5/ 9(月)～ 5/31(火)
仙台市落合市民センター	6/10(金)～ 7/ 1(金)
仙台市大沢市民センター	7/12(火)～ 7/23(土)
仙台市広瀬市民センター	10/21(金)～10/23(日)
仙台市折立市民センター	2023年 6/ 7(水)～ 6/21(日)



折立市民センターでの展示の様子

■2023年1月に白沢カルデラ「古仙台海」ジオサイト探訪を発行しました



2022日本風景街道・関山街道のルート登録に向けた活動に取り組みます。

日本風景街道とは？

日本風景街道は、郷土愛を育み、日本列島の魅力・美しさを発見、創出するとともに、多様な主体による協働のもと、景観、自然、歴史、文化等の地域資源を活かした国民的な原風景を創成する運動を促し、以って、地域活性化、観光振興に寄与し、これにより、国土文化の再興の一助となることを目的とします。

日本風景街道への登録をきっかけに

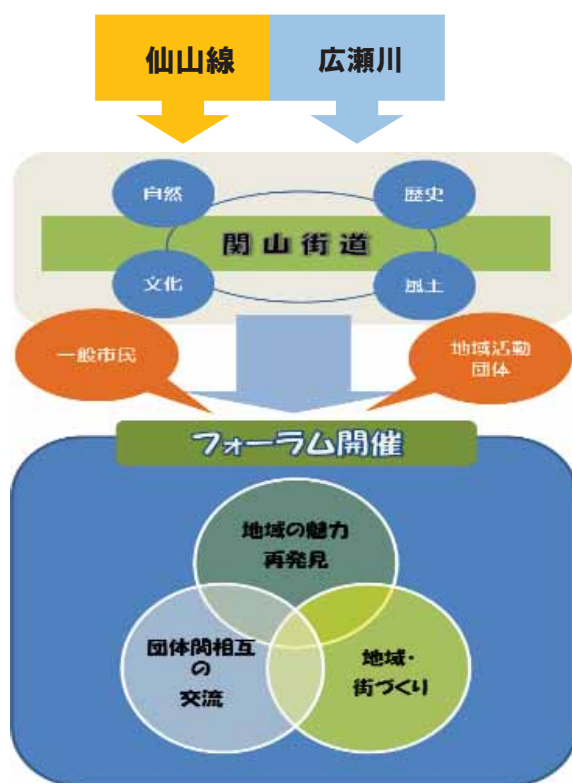
・関山街道エリアの活動主体のパートナーシップの構築
・地域資源の活用を通じた地域活性化、関係人口の拡大、仙山交流を進めたいと考えています。



◇関山街道フォーラム協議会とは◇

関山街道フォーラム協議会は、関山街道沿線で活動している市民活動団体・企業・行政等が、地域の自然、歴史、文化、風土等の豊かな自然を掘り起こし、活用しながら地域活性化を目指している団体です。

平成23年12月に実行委員会を発足し、平成24年5月に「関山街道フォーラム」を開催しました。その後「土の道部会」を立ち上げマップ作成や探訪会等の活動。また、関山街道と並行して走る仙山線に焦点をあてた事業開催のため「鉄の道部会」を立ち上げ仙山線の選奨土木遺産認定（H26年）に取り組みしました。平成24年12月8日に「関山街道フォーラム協議会」として名称を改め、地域の魅力を発信していくことを目標に活動を継続しています。



■顧問■ 敬称略

宮城学院女子大学 現代ビジネス学部教授
東北福祉大学教授
(元)東北大学大学院 工学研究科准教授

宮原育子
星山幸男
後藤光亀

■アドバイザー■

さくらの名所づくりアドバイザー
東北大学教授 総合学術博物館館長

高階道子
高嶋礼詩

■構成団体■

作並温泉旅館組合
広瀬川市民会議
定義観光協会
愛子の郷交流会
仙台市宮城地区郷土史探訪会
仙台・作並回文の里づくり実行委員会
みやぎ街道交流会
仙台市宮城総合支所
NPO法人作並・新川地区活性化連絡協議会
白沢カルデラプロジェクト実行委員会
八幡地区まちづくり協議会
仙台西国VSP連絡協議会
ニッカウキスキー(株)仙台工場
大倉ふるさとセンター
土木学会東北支部
ひろせの底力
みちのく鉄道応援団
仙台市広瀬市民センター

オブザーバー

・仙台河川国道事務所 仙台西国道維持出張所
・宮城県 企画部 総合政策課
・山形県 村山総合支庁 総務企画部 総務課 連携支援室
・仙台市 建設局 百年の杜推進課 広瀬川創生係

よろしかったら、スタッフ等として一緒に活動してみませんか！

●団体会費5,000円 ●個人会費2,000円 ●賛助会員1,000円

発行：関山街道フォーラム協議会

会長：平川 新（東北大学名誉教授、サン・ファン館館長）

■問い合わせ先 事務局（横山）まで

・TEL：090 - 7939 - 1855（18:00以降でお願いします）

・HP：http://sekiyamaforum.com ・メール：info@sekiyamaforum.com